

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7814 観光ビジネス論B			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜2限				
教室	H303教室				
代表教員	小林 正典				
担当教員	小林 正典				
テーマと到達目標	経済波及効果の大きい観光は地域社会発展のための大きな手段の一つでもあり、観光ビジネスは日本の力強い経済成長を取り戻すための重要な産業分野である。このような観点に立って、この授業では日本の観光政策の現状を知り、新たな観光ビジネスの形態を学習し、注目される観光ビジネスについて理解を深めることを目標とする。				
概要	地方創生と観光振興／まちづくり関連観光ビジネス／遺産観光ビジネス／土産関連観光ビジネス／レジャーサービス関連観光ビジネス／教育関連観光ビジネス／I R・ニューツーリズムビジネス／その他の注目される観光ビジネス (予習：配布資料・動画による事前学習、1回の授業あたり120分以上) (復習：配布資料・動画による事後学習、関連文献の閲読、1回の授業あたり120分以上)				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	地方創生と観光振興				対面授業
第2回	まちづくり関連観光ビジネス1				対面授業
第3回	まちづくり関連観光ビジネス2				対面授業
第4回	まちづくり関連観光ビジネス3				対面授業
第5回	遺産観光ビジネス				対面授業
第6回	土産関連観光ビジネス・<テスト1>				対面授業
第7回	レジャーサービス関連観光ビジネス1				対面授業
第8回	レジャーサービス関連観光ビジネス2				対面授業
第9回	教育関連観光ビジネス1				対面授業
第10回	教育関連観光ビジネス2<テスト2>				対面授業
第11回	I R・ニューツーリズムビジネス1				対面授業
第12回	ニューツーリズムビジネス2				対面授業
第13回	ニューツーリズムビジネス3				対面授業
第14回	ニューツーリズムビジネス4・その他の注目される観光ビジネス<テスト3>				対面授業
第15回	総まとめ				オンデマンド型オンライン授業
成績評価の基準	テストを3回実施し(第1回目30満点、第2回目30満点、第3回目40満点)、各テストの合計点(100点満点)で成績を評価する。テストに対するフィードバックは和光ポータルを通じて行う。				
履修にあたっての留意事項	資料の配信は和光ポータルの機能を使って行い、資料の形式はPDF ファイルを基本とする。 テストの提示と提出受付、質疑応答も和光ポータルの機能を使って行う。 所定の期限までにテストを提出しなかった場合、理由の如何を問わず未提出のテストの得点は0点になるので注意すること。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	オンデマンド型オンライン授業方式を実施する回においては、YouTubeを用いて授業の動画を配信する。				
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし。		
教科書	加藤弘治編著『観光ビジネス未来白書2026年版』同友館、2026年。 安田亘宏『観光ビジネス実務主任者認定試験 公式テキスト』マイナビ出版、2024年。 その他、授業中に指示する。	教科書(ISBN)	
参考文献	西村幸夫・國學院大學地域マネジメント研究センター編『観光まちづくりの展望－地域を見つめ、地域を動かす』学芸出版社、2024年。 JTB総合研究所『旅行業実務シリーズ 1. 旅行業法令およびこれに基づく命令 2026』JTB総合研究所、2026年。 JTB総合研究所『旅行業実務シリーズ 2. 旅行業約款 運送・宿泊約款 2026』JTB総合研究所、2026年。 その他、和光ポータルを通じて資料を配信する。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--